



建設当時の若久団地

アーベインルネス若久／福岡市南区

昭和 39 年、これまで福岡市内にはなかった 1 千戸を超えるマンモス団地として「若久団地」は誕生しました。それから約 50 年の間、人々のライフスタイルは多様化し、住宅に求めるニーズも変わりました。

平成 22 年 3 月から始まった建替事業で新しく生まれ変わった「アーベインルネス若久」は「自然を感じる」「つながりを感じる」「安心・安全を感じる」「美しい街並みを感じる」一をコンセプトに、誰もが住み良いまちを形成しています。

建替事業によって新たに策定した地区愛称「四季彩の丘 ワカヒサージュ」は、大きく成長した樹木や、当初入居から約 50 年間育てられてきたコミュニティーなどを継承したいという思いから定めたものです。これをシンボルに掲げ、今後、民間分譲マンション、医療・福祉施設、戸建住宅などの複合的な機能を持った新しい地区へと生まれ変わります。

これらの取り組みによって、地区全体の魅力や団地の価値向上につなげています。

所在地	福岡市南区若久団地 4 番・5 番
管理戸数	370 戸
構造	鉄筋コンクリート造 7～8 階建て
完成年月日	平成 27 年 6 月



日差しにあふれるダイニングキッチン



ワカヒサージュのロゴマーク



完成直後のアーベインルネス若久